

Case Study

支部ケース・スタディ

東海支部

静岡市公立小学校に初導入 ICTサービスで 小学校と連携し、地域の安全を守る「ミマモルメ」

(株)トコちゃんねる静岡

技術部ICT課 課長

鈴岡 靖章

地域に密着した番組をお届けして33年、さらに頼りにされる企業へと成長するために

(株)トコちゃんねる静岡は、1984年(株)静岡ケーブルネットワークとして創業し、インターネットプロバイダとの合併などを経て2012年にトコちゃんねる静岡へと社名変更しました。静岡県を中心にLPガス、インターネット、宅配水など様々な生活インフラを担うTOKAIグループの一員として、ケーブルテレビ・光通信(FTTH)・電話・インターネットサービスプロバイダを展開しています。

今回、社内で「地域貢献」をテーマとして、新規事業の構想を立てることになりました。わが社の事業内容を生かした、ICTを使った地域貢献ができないだろうかという観点から、様々な新規事業のテーマを模索する中、地域の安全・安心を守るというテーマが浮かび上がりました。

昨今、地域の安全・安心を脅かす事件が絶えません。その中でも特に、小さな子どもを狙った犯罪や不審者による連れ去りなどが目立つようになり、トコちゃんねる静岡でも犯罪から子どもたちを守る手助けができないかという議論が進みました。自治体でも情報提供のメールやアプリの導入などが盛んに行われるようになってきておりますが、一人一人の子どもの安全を見守るという点ではまだまだサービスの浸透が十分にいきわたっていない状況でした。

子どもたちの安全を「適度な距離で」「確実に」見守る、「登下校ミマモルメ」サービスの導入

ICTを活用して子どもたちの安全を見守るサービスと言えば、防犯カメラやGPSの活用が代表的です。特にGPSは、ピンポイントで一人一人の子どもの位置情報を確認するためには有用と言えます。しかし、位置情報の正確性や悪用の恐れ等、懸念材料が多くありました。色々と模索する中、阪急阪神東宝グループの(株)ミマモルメが提供するサービス「登下校ミマモルメ」に出会い、これはその課題をクリアしてくれるサービスだと考えました。

「登下校ミマモルメ」

お子さまが校門を通過する際、保護者の方に校門通過情報を**即時に専用アプリやメール**でお知らせ
(校門通過情報：学校名、お子さまのお名前、通過門名、年月日、通過時刻)



「登下校ミマモルメ」サービスとは、ICタグを持った小学生が登下校の際に校門を通過した瞬間、その通過情報(学校名や門名、通過時刻)を保護者の方にメールやアプリで通知するサービスです。子どもにとっては保護者から見守られているという安心感が得られます。保護者にとっては校門の通過時間が分かることで、途中まで迎えに行くことや何かあった場合の初動を早くすることができ、子どもが自宅に戻るタイミングも分かるため、時間の有効活用ができます。さらに地域にとっては防犯意識が高いエリアだとして犯罪の抑止効果も期待できるサービスです。

使用するタグについては、現在は従来型のタッチ方式からICタグを使ったハンズフリー方式が主流になっており、「登下校ミマモルメ」では陸上競技のレースタイム計測などでも使用される(株)マトリックス社の製品「POWERTAG」RFIDタグを採用しております。登下校時に人が重なって読み漏れを起こす心配もありませんし、検知エリア(トリガーコイル上)に入ったときだけ電波を配信するため、電池寿命が6年～7年と長く正確な検知が可能です。

また、ICタグが名刺半分程度の大きさであることから、ランドセルのポケットの中に入れておけば出し入れする必要がなく外からも見えないため、子どもの間でタグの所持について差がつかずトラブルの予防になるなどの利点があります。

「登下校ミマモルメ」を導入する際には、校門の地面にトリガーコイルとダイポールアンテナを埋め込み、門の横に銅管柱及びアンテナ、中継箱を設置します。工事は校門1つ当たり1日かかりますが、道路の通行止めはなく登下校や車両の通行には支障がありません。工事費用は(株)ミマモルメが負担し、運用時の電源は学校から供給を受けますが、電気代は(株)ミマモルメ側が負担します。



名刺サイズ半分程度のICタグ



ランドセルにずっと入れたままでOK

この「登下校ミマモルメ」は、(株)ミマモルメとトコちゃんねる静岡が業務委託契約を締結し、トコちゃんねる静岡との共同サービスとして当社が保護者様へご提案します。実際の利用契約は(株)ミマモルメと保護者様が行い、月額利用料は保護者様が(株)ミマモルメに支払うスキームです。トコちゃんねる静岡がこのサービスをご紹介しますことで、地元ケーブルテレビが扱うサービスとして、保護者の皆様は安心して申し込みができます。当社としても自治体と連携してこの仕組みをご導入いただくことで、地元課題を解決し地域に貢献できる魅力的なサービスだと感じました。

民間サービスが公立学校へ参入することへの課題

「登下校ミマモルメ」は、全国の小学校等合わせて約1,700校、60万人(無料会員含む)の利用実績があります。さらに導入費用は一定条件を満たせば(株)ミマモルメが負担しメンテナンスまで行ってくれるため、保護者や学校側に導入時の負担はありません。しかし、実際に静岡市の小学校へ導入するまでにはかなりの時間を要しました。

まずは公立の小学校であることから、民間のサービス導入に向けて学校に施工する可否の議論、次に近隣の小学校で導入実績がなく初めての取り組みであることから手続き等の確認と、すぐに導入へと進んだわけではありませんでした。初めに静岡市内でもマンモス校の一つである公立小学校様への導入を目指し、2020年8月にPTA様と小学校様へ概要、工事の期間などをご説明させていただきました。その後2021年度からの導入を目指して静岡市教育委員会様とも話し合いを重ね、最終的には「民間のサービスによって、子どもたちや保護者の方へより良い安心が提供できるのであれば、利用してみよう」というご判断をいただくことができました。承認を得て2021年4月に着工、同年7月から無料期間開始、10月から料金をいただきながらの実利用を開始しました。現在静岡市内では4校の公立小学校へ導入済みで、日々ご利用いただいています。新一年生をはじめ認知度も上がってきており、さらなる普及を目指し各小学校で説明会を行っております。



葵区公立小学校に設置したアンテナポール



コイルは埋め込まれているので通行に支障なし

「登下校ミマモルメ」を活用したこれからの展望

「登下校ミマモルメ」は小学生の登下校の安全を守るサービスですが、より多くの方に利用していただくことで地域全体の防犯につながるというメリットがあります。また、導入後には様々なオプションサービスを付加することができる汎用性の高いサービスです。例えば、子どもの位置情報が一目でわかるGPSサービスや、学校で利用しているICタグをそのまま使って自宅の出入りもお知らせできる「ミマモルメあんしんプラス」、子どもの欠席等について保護者様がアプリを通じて学校に連絡できる「欠席遅刻等受付」など、子どもたちの安全性に加えて利便性をアップするサービスを展開しています。学校側にもご協力をお願いしながら利用率を上げていき、利用することが当たり前のサービスになることを目指しています。まずは2026年までに静岡市内の全小学校に整備することを目標に、サービスの普及にまい進してまいります。

またICタグを使った入退室感知システムは、子どもたちの登下校以外にも様々なシーンでの応用が考えられます。放課後の塾や児童クラブ、高齢者の見守りやショッピングセンターの利用客向け等でもこの技術を応用し、安全面のみならず利便性や楽しさを生み出す可能性にも目を向けながら、トコちゃんねる静岡として地域の皆様により良いサービスが提供できるようこれからも検討を進めていきます。